



平成13年10月31日
日本原子力発電株式会社

敦賀発電所1号機用新燃料の輸送について

当社、敦賀発電所1号機（沸騰水型軽水炉：定格出力35万7千kW）は、本日、新燃料集合体56体を下記のとおり受け入れました。

記

1. 輸送年月日

平成13年10月30日 19時30分

株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン 久里浜工場 発
(神奈川県横須賀市)

平成13年10月31日 7時00分 敦賀発電所 着

2. 輸送数量等

新燃料集合体 56体

輸送容器 28個

3. 輸送物の種類

A型核分裂性輸送物

4. 輸送方法

陸上輸送

なお、今回の燃料集合体から、9×9燃料（平成12年10月31日に原子炉設置変更許可）の輸送となります。

以上

参 考 輸送における安全性について
別 添 A型核分裂性輸送物の安全基準

輸送における安全性について

1. 輸送物の種類

A型核分裂性輸送物

2. 輸送容器の概要

型式：RAJ-II型

形状：箱形

寸法：長さ約5m、幅約1m、高さ約1m

重量：約1.5トン（輸送容器だけで約0.9トン）

材質：ステンレス製

3. 輸送物の安全確認

本輸送物については、別添に示す国の安全基準を満たすことを国の指定確認機関である（財）原子力安全技術センターにより確認されたものです。

4. 輸送上の安全対策

輸送にあたっては、車両等への積付け・標識等、輸送上の十分な安全対策を実施しています。

なお、万一緊急の事態が生じた場合にも、最寄りの消防・警察および経済産業省等に連絡するとともに、適切な措置をとることとしており、十分な安全対策を講じることとしております。

別 添

A型核分裂性輸送物の安全基準

「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」第59条の2に基づき、国が定めている、『A型核分裂性輸送物』に係わる技術上の基準の主なものは、以下のとおりである。

(1) 線量当量率

表面で 2.0ミリシーベルト/時以下

表面から1m離れた位置で、0.1ミリシーベルト/時以下

(2) 表面汚染密度

α 線を放出する放射性物質の場合、0.4ベクレル/cm²以下

α 線を放出しない放射性物質の場合、4.0ベクレル/cm²以下

また、A型核分裂性輸送物の試験条件には、

(1) 一般の試験条件

水の吹きつけ試験、自由落下試験、圧縮試験、貫通試験

(2) 特別の試験条件

9m落下試験、棒上の1m落下試験、耐火試験、浸漬試験

があり、これらの厳しい諸条件下においても、容器の健全性を維持し、臨界の防止を確保するよう、法令の基準値を満足することとなっている。

以上